

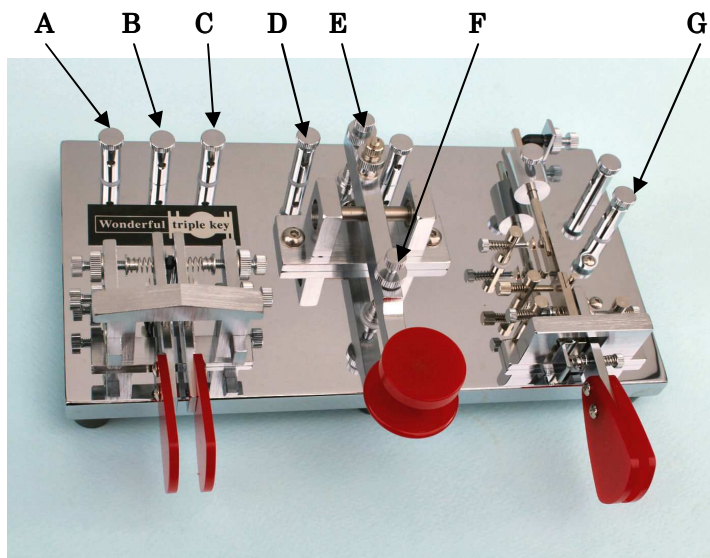
GTB736 取扱説明書

R16.1.28

この度はトリプルキーのお買い上げ頂き誠に有難うございました

GTB736 はパドル、縦振りキー、バグキーの 3 連キーです

1 調整方法



① パドル部

接点間隔並びにバネ圧は左右それぞれ調整可能です、ロックナットを緩めて調整後にロックナットを締め付けて下さい(通常の右手操作の時は親指が短点、人差し指が長点になります、この場合短点が端子 A に長点が端子 C になります、尚短点はドット長点はダッシュとも言います) ツマミの同時押さえにより スクイズ操作が出来ます

② 縦振り部

レバーがベースに対し平行になるようにネジ E で調整しその時に接点がメイク(符号が出る)するようにネジ F で調整します、その後に 接点間隔調整をネジ E で行います (調整後はロックナットを締め付けて下さい)

③ バグキーの調整は次ページの GN206S の取説をご覧ください、一部異なる所があります

2 お願い

各キーのリグとの接続はリグによってプラグや配線が異なりますのでお客様でご用意下さい (別売りで 6.5Φプラグ付コードの **GOP1021** と 3.5Φプラグ付コード **GOP1022** のご用意もあります)

3 GK509A(メモリーキーヤー)を使うと配線がシンプルになります

GK509A に付属の 2 芯コードの撚り線(アース)を端子 B に通常の右手操作の時はコードの赤線を端子 A にコードの白線を端子 C に接続し 端子 C と D,G を繋ぐだけで **GK509A** のスイッチを **E-KEY** にすると エレキーになり スwitchを **E-BUG** にすると縦振りやバグキーに即座に切替が出来、その記録も出来ます これは画期的な事です

GN206S バグキー 取扱説明書

R16.1.28

この度は GN206S バグキーのお買い上げ誠に有難う御座いました

特徴

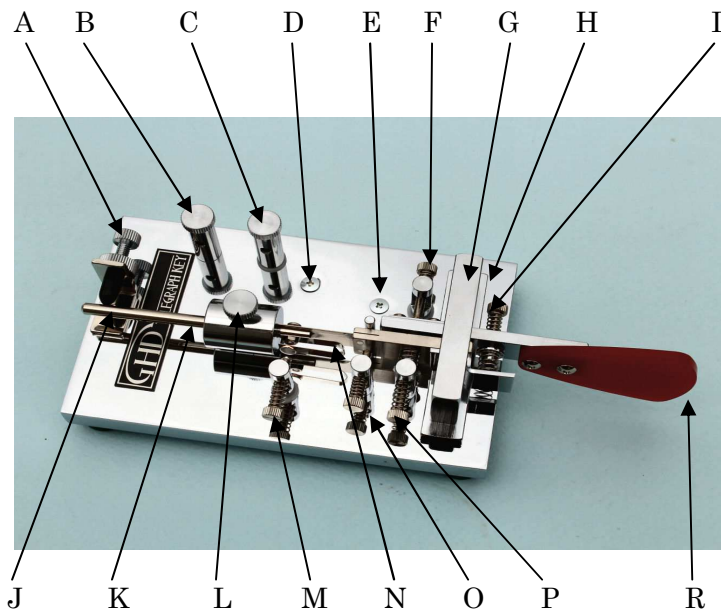
- ・バグキーとしては小型で音も静かです 低重心設計の為 操作性は抜群です
- ・購入後に左手操作用に 組み換えが 出来ます

調整手順

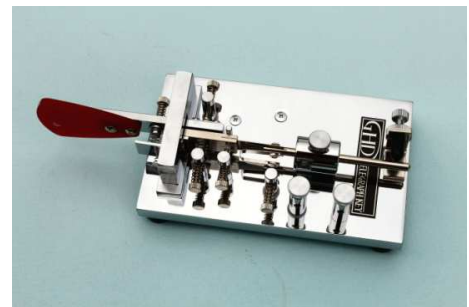
- ① バグキーが置かれた机等が水平になっている事を確認します
- ② ツマミと錘を写真の様に取付ます (ツマミの面取りをして有る側を親指側にします)
- ③ シャフト K と振り止めのシリコンゴム J が軽く触れるようにネジ A を調整します
- ④ ツマミ R を左から右に押した時にツマミの先端(体に近い方)が 1～2 ミリ動くようにネジ O を合わせます
- ⑤ この時のバネ圧をネジ P で合わせます
- ⑥ この時シャフト K に取り付けられた錘 L が左右に振れますがその動きが終息した時 ヘアピン接点 N とネジ M に取り付けられた接点が軽く触れるようにネジ M を調整します
- ⑦ ツマミ R を右から左に押した時にツマミ先端で 0.5～1 ミリ位動くようにネジ F を合わせます
- ⑧ この時のバネ圧をネジ I で合わせます

●左手用に組み替える時はヨーク G とヨーク座 H をベースの裏側より止めているネジ 2 本を外し ヨーク G とヨーク座 H の左右を逆に、左右のレバーは上下、左右を逆にします

M O P F D E も左右逆に付け替えます、振り止め A はベース下からのネジを緩め向きを逆にします



端子 B はアース、端子 C はキー-OUT です



左手用に組み替えた時

株式会社GHDキー

981-3326 宮城県黒川郡富谷町明石字下向田 24-14

022-779-0681

www.ghdkey.com